

事務事業名	青少年施策推進費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年を取り巻く諸問題に対処するため、青少年関係機関との連絡調整を図るとともに青少年団体及び青少年育成団体が実施する健全育成事業等に対し、事業費の一部を助成する。また、青少年の健全育成に対する理解を深めるため啓発活動を行う。						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	法律等						
事業実施内容	青少年団体及び青少年育成団体の活動を支援することで、青少年に対し多様な地域活動の機会の提供を行った。また、青少年育成市民のつどいを開催し、青少年の健全育成活動に対する啓発を図った。 ・青少年育成市民のつどいの開催(参加者58名・青少年にとってのよい環境を考えるつどいと共同開催) ・青少年団体への助成(計23団体)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 () <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 青少年団体・育成団体支援助成金) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 3,752 千円	事業費節別内訳		主な事業内容												
		費目	支出済額(千円)													
		旅費	9 千円		経常旅費											
		需用費	46 千円		共通物品・事務用品等											
財源内訳	R2年度 支出済額 3,752 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.50人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和2年度	常時勤務職員※	0.50人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.50人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
			令和2年度													
		常時勤務職員※	0.50人工													
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工													
		合計	0.50人工													
		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く														
会計年度任用職員(配置数)	0.00人															
費目	支出済額(千円)															
分担金・負担金																
使用料・手数料																
国庫支出金																
県支出金																
その他 ()																
一般財源	3,752 千円															

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	7,952	12,047	9,335	8,190			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,947	12,117	9,692	8,282			
	事業費(支出済額)	1,487	5,853	4,541	3,752			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	6,460	6,264	5,151	4,530			
	①常時勤務職員等の給与等	6,169	5,959	4,845	4,259			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	291	305	306	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	5	-70	-357	-92			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	5	-70	-357	-92			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	18.60	427,501	28.06	429,317	21.56	433,060	18.82	435,121

成果実績	指標名	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
		実績	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		青少年に対する各地区や各団体の活動をとおり、青少年の健全育成を行っているが、健全育成の達成度を数値で表すことが困難であるため。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		—								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、制限された中で実施可能な事業や方法を検討する必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	市の新型コロナウイルス対策のガイドラインに則り、状況に応じた形で事業を展開していく。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症の対策を講じつつ、青少年の健全育成に対する理解を深めるために、藤沢市青少年指導員協議会と共同開催して、防犯について講演会を行い、啓発することができた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	11月の「子ども・若者育成支援強調月間」をとおり、子どもと若者の育成支援ができるよう、市の新型コロナウイルス対策のガイドラインに則り、状況に応じた形で講演会等啓発活動を行う。また、青少年団体・青少年育成団体の支援と青少年の健全育成に関する周知活動は次年度も継続して行う。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
2	子ども・若者育成支援強調月間事業開催に関すること	無	有	2	
3	青少年育成の基本方針の企画・立案・進行管理に関すること	無	有		1
4	青少年問題協議会の運営に関すること	無	有	1	2
5	市の表彰事務に関すること	無	無	1	1
6	県等の表彰事務に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	青少年指導員活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 44 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各地区青少年育成協力会及びPTAからの推薦により県・市が委嘱した青少年指導員が、各地域や市全域において次の青少年の健全育成活動を行う。 ①青少年の体験活動②青少年団体の育成及び支援③青少年に望ましい地域づくりの推進④青少年に関する相談及び支援⑤青少年に関する調査及び情報提供⑥青少年の非行防止を図るための街頭指導						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	その他(要綱等) 神奈川県青少年保護育成条例, 藤沢市青少年指導員活動基準要綱						
事業実施内容	青少年指導員協議会事業委託により,各事業の実施や地区における青少年の健全育成及び非行防止を進めた。 ・街頭指導活動(14地区月2回実施) ・JUMP UP U-20 WINTER CONCERT(参加人数8グループ36人,従事者36人) ・研修会(全2回,参加人数述べ248人) ・広報紙発行(年2回)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市青少年指導員協議会) (委託等内容 : 青少年の健全育成, 非行防止のための地区・部会・広報活動) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 15,154 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	13,500 千円	青少年指導員謝礼
		需用費	19 千円	カメラ・印刷製本費
		役務費	430 千円	青少年指導員傷害保険
		委託料	1,205 千円	青少年指導員協議会事業業務委託
財源内訳	R2年度 支出済額 15,154 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
		その他 ()		
一般財源	14,754 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工
合計	0.50 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00 人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	22,710	22,244	21,802	19,109			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,592	22,324	21,947	19,684			
	事業費(支出済額)	15,439	15,193	15,241	15,154			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,153	7,131	6,706	4,530			
	①常時勤務職員等の給与等	6,822	6,784	6,307	4,259			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	331	347	399	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	118	-80	-145	-575			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	118	-80	-145	-575			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	53.12	427,501	51.81	429,317	50.34	433,060	43.92	435,121

成果実績	指標名	青少年指導員活動月数(延べ)	目標	2,688	単位 月	2688	単位 月	2,688	単位 月	2688	単位 月
			実績	2,676	単位 月	2676	単位 月	2,670	単位 月	2587	単位 月
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		8,486.55		8,312.41		8,165.54		7,386.55			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	青少年指導員は、現在、学校・PTA・青少年育成協力会から各地区16名を選出しているが、地区によっては16名の選出が難しくなっている現状があり、途中で入れ替わることが頻繁にあった。
(2) 課題解決のための今後の取組	地区の実状や、地区で行われている活動内容を把握することで、今後の選出人数の見直しの参考にしたいと考えている。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、可能な範囲で事業を行うことができた。ただし、事業を行うにあたって地区によっては青少年指導員の人数が少ないところもあり、業務量に差が生じてしまっている状況がみられた。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	令和元年度に選出人数について、推薦元である各地区青少年育成協力会へアンケートを実施したところ、3地区においては選出人数の見直しの希望があった。青少年指導員は、地区での活動とともに、指導員協議会としての活動を行う中で、積極的に使命を果たしているが、青少年課としても地区の実状や、地区で行われている活動内容を把握することで、今後の選出人数の見直しの参考にしたいと考えている。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
22	青少年指導員の人事管理と青少年指導員協議会の運営に関すること	無	無	1	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	非行防止推進活動費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	002	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	駅周辺や公園、青少年が立ち寄る店舗などのパトロールによって、青少年への声かけ指導及び店舗側への協力依頼や改善指導などを行う。また、青少年の非行防止ポスター展を実施し、青少年自身に非行や問題行動について考えてもらうとともに、街頭キャンペーンや講演会「青少年にとってのよい環境を考えるつどい」を開催し、広く市民へ青少年問題の意識啓発を図る。																
対象	1. 個人	市民														435,121	人
根拠法令等	条例(県)	神奈川県青少年保護育成条例															
事業実施内容	キャンペーン、パトロール等事業の実施により青少年の非行防止及び社会環境の浄化を図った。 街頭指導活動(昼間実施回数1,341回,声掛け件数95件,夜間実施回数47回,声掛け件数1,016件) 街頭指導キャンペーン(全2回,参加人数延べ35名) 青少年にとってのよい環境を考えるつどい・青少年育成市民のつどい(参加人数58人)																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 2,692 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	1,795 千円	特別街頭指導員謝礼・講師謝礼
		旅費	79 千円	街頭等指導員普通旅費
		需用費	767 千円	啓発用ポケットウェットティッシュ・マスク等
		役務費	51 千円	特別街頭等指導員傷害保険
財源内訳	R2年度 支出済額 2,692 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
		その他()		
一般財源	2,292 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	4.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	18,486	18,270	18,914	18,029			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,368	18,350	19,059	18,604			
	事業費(支出済額)	4,608	4,104	4,221	2,692			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	13,760	14,246	14,838	15,912			
	①常時勤務職員等の給与等	6,822	6,784	6,307	4,259			
	②会計年度任用職員の報酬等	6,607	7,115	8,132	11,382			
	③退職金相当額	331	347	399	271			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	118	-80	-145	-575			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	118	-80	-145	-575			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	43.24	427,501	42.56	429,317	43.68	433,060	41.43	435,121

成果実績	指標名	街頭指導(昼間・夜間)声掛け件数	目標	2,050	単位 件	1,600	単位 件	1,600	単位 件	1,600	単位 件
			実績	1,683	単位 件	1,218	単位 件	1,288	単位 件	1,111	単位 件
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			10,983.96	15,000.00	14,684.78	16,227.72					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、一部事業手法の見直しが必要である。
(2) 課題解決のための今後の取組	市の新型コロナウイルス対策のガイドラインに則り、街頭指導及び事業を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	青少年を犯罪や非行に関わらせない社会を目指すため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら事業を行う。	
今後の方針	事業の方向性	一部見直し
	市の新型コロナウイルス対策のガイドラインにより、これまでの手法で事業を継続することが困難なものについては、オンラインにて実施するなど、実状に合わせて事業手法の見直しを行い、社会全体で子どもたちを見守り育てる活動を継続していく必要がある。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
23	街頭指導に関すること	無	無	1	3
24	社会環境実態調査に関すること	無	無	1	
25	有害図書類区分陳列等調査の事務に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	少年の森事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	003	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 55 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年健全育成の野外活動施設である藤沢市少年の森を維持するため、環境の整備及び用地の継続利用を図る。						
対象	1. 個人	18歳以下の青少年及び青少年育成者(2021.3.31現在)			74,401	人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市少年の森条例, 藤沢市少年の森条例施行規則					
事業実施内容	施設の環境整備及び用地の継続利用を図った。 ・園内の修繕 ・森林保険 ・AED設置, 土地賃借料の支払い						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 17,978 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	1,079 千円	施設修繕費
		役務費	2,421 千円	火災保険料
		使用料及び賃借料	14,478 千円	AED賃借料, 土地賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 17,978 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
一般財源	17,978 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み, 会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	20,612	20,419	24,292	23,232			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,273	18,980	22,929	21,601			
	事業費(支出済額)	15,503	15,222	19,528	17,978			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	3,770	3,758	3,401	3,623			
	①常時勤務職員等の給与等	3,595	3,575	3,199	3,407			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	175	183	202	216			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,339	1,439	1,363	1,631			
	①減価償却費	1,639	1,481	1,481	1,481			
	②退職給与引当金繰入額	-300	-42	-118	150			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	48.22	427,501	47.56	429,317	56.09	433,060	53.39	435,121

成果実績	指標名	年間の少年の森利用者数	目標	64,100	単位	63,349	単位	63,350	単位	58,415	単位
			実績	58,546	単位	55,850	単位	49,026	単位	52,184	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		352.07		365.60		495.49		445.19			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 園内の建物や遊具の老朽化が進行している。 ナラ枯れ被害が多数報告されている。
(2) 課題解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 修繕の優先度や各遊具の老朽化の度合いについて、指定管理者と情報共有を行う。修繕について、より効率的な施工方法を検討し、施設や遊具の長寿命化を図る。 ナラ枯れにより枯死した樹木の伐倒と適切な処分を行う。また、種を植えて森の再生を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	野外体験を通じた青少年の健全育成を目的に設置された少年の森の維持管理と利用者の安全性の確保を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	少年の森は市内でキャンプ等の野外活動を行うことができる唯一の公設施設であり、次世代を担う青少年の健全育成を図るため継続的に維持管理をしていく必要がある。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
12	用地管理(賃貸借)の事務に関すること	無	無	1	1
13	用地管理(取得)の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	少年の森整備事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	003	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年健全育成の野外活動施設である藤沢市少年の森の施設環境の整備を進め、施設利用者の安全性の確保、快適性の向上を図る。						
対象	1. 個人	18歳以下の青少年及び青少年育成者(2021.3.31現在)			74,401	人	
根拠法令等	条例(市)	藤沢市少年の森条例, 藤沢市少年の森条例施行規則					
事業実施内容	施設の安全性の確保, 快適性の向上を図った。 園路等の改修						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 3,863 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	3,863 千円	園路改修等
財源内訳	R2年度 支出済額 3,863 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	3,863 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	22,477	7,327	51,209	8,993			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	19,189	10,023	51,203	9,298			
	事業費(支出済額)	4,127	3,278	44,400	3,863			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	15,062	6,745	6,803	5,435			
	①常時勤務職員等の給与等	14,373	6,417	6,399	5,110			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	689	328	404	325			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,288	-2,696	6	-305			
	①減価償却費	0	0	0	0			
②退職給与引当金繰入額	3,288	-2,696	6	-305				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	52.58	427,501	17.07	429,317	118.25	433,060	20.67	435,121

成果実績	指標名	年間の少年の森利用者数	目標	64,100	単位	人	63,349	単位	人	63,350	単位	人	58,415	単位	人
			実績	58,546	単位	人	55,850	単位	人	49,026	単位	人	52,184	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			383.92	131.19	1,044.53	172.33									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	御所見郷土づくり推進会議から提出された御所見地区のまちづくりに関する提言書や、少年の森に対する要望について継続的に対応していく必要がある。 北部地域活性化に資する施設となるよう検討する必要がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	要望に対し、指定管理者や御所見市民センターと情報共有を行いながら要望内容を精査し、対応していく。 令和3年度から北部地域活性化に資する施設に向けた調査・検討を行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域要望であった駐車場の整備を行い駐車可能台数を増やすことができた。その結果、市内外から乗用車で来園された方々や団体利用等による大型バスの駐車場所が確保でき、イベント時の近隣への路上駐車への抑制に寄与した。 また、施設の修繕を行い、利用者が安全に利用できるよう、環境の整備を図ることができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	引き続き、施設の維持・整備を行いながら、老朽化への対応を検討するとともに開所から40年以上を経過している施設の在り方についての検討を本格化させる。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
11	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
12	用地管理(賃貸借)の事務に関すること	無	無	1	1
13	用地管理(取得)の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	地域子どもの家等事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所、健全育成の場として、地域子どもの家及び児童館の施設環境の維持・保全を図る。						
対象	1. 個人	地域子どもの家:小中学生、付添人のいる幼児、青少年団体、児童館:0~18歳の方(幼児は保護者同伴) (2021.3.31現在)				74,401 人	
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例, 藤沢市児童館条例, 児童福祉法					
事業実施内容	地域子どもの家及び児童館の施設環境の維持・保全を図った。 施設の修繕 児童館用地等草刈り シロアリ調査						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社明誠) (委託等内容 : シロアリ調査業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 15,067 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	3,411 千円	施設修繕費
		役務費	2,605 千円	児童館用地等草刈り業務
		委託料	73 千円	シロアリ調査業務委託
		使用料及び賃借料	8,978 千円	AED及び土地賃借料
財源内訳	R2年度 支出済額 15,067 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
		一般財源	15,067 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	52,261	52,898	62,033	49,933			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	18,090	17,773	26,322	18,690			
	事業費(支出済額)	12,870	12,570	21,074	15,067			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,220	5,203	5,248	3,623			
	①常時勤務職員等の給与等	4,978	4,950	4,936	3,407			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	242	253	312	216			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	34,171	35,125	35,711	31,243			
	①減価償却費	35,183	35,183	35,707	31,667			
②退職給与引当金繰入額	-1,012	-58	4	-424				
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	122.25	427,501	123.21	429,317	143.24	433,060	114.76	435,121

成果実績	指標名	年間の地域子どもの家及び児童館利用者数	目標	507,100	単位	483,160	単位	483,160	単位	472,370	単位
			実績	489,336	単位	470,018	単位	427,804	単位	121,164	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		106.80		112.54		145.00		412.11			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	施設の老朽化により、台風や荒天の際には雨漏りが発生しているため、屋根や外壁等について長期的な修繕計画を策定する必要がある。また、木製遊具についても定期的な修繕が必要なため修繕が間に合わず、長期間使用中止の措置をする場合がある。
(2) 課題解決のための今後の取組	修繕の優先度や各遊具の老朽化の度合いについて指定管理者と情報共有を行う。修繕について、より効率的な施工方法を検討し、施設や遊具の長寿命化を図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域子どもの家17館と児童館5館の施設環境の維持及び健全化を図ることにより、地域における子どもたちの安全・安心な居場所を提供し、子どもたちの健全な発達に寄与することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	地域における子どもたちの安全・安心な居場所として運営するため、継続的に施設修繕等の維持管理を行っていく。なお、地域子どもの家の6館の用地が地権者と賃貸借契約を締結しているため、相続等が発生した場合、用地の購入を検討する必要性が生じることについて留意しておく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
14	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
15	用地管理(賃貸借)の事務に関すること	無	無	1	1
16	維持管理・設備工事等に関すること	無	無	1	1
17	用地管理(賃貸借)の事務に関すること	無	無	1	1
18	用地取得(取得)の事務に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	地域子どもの家等整備事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	004	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	令和 2 年度	終了(予定)年度	令和 2 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における子どもたちの安全・安心な居場所や健全育成の場として、地域子どもの家及び児童館の設備環境の整備等を行う。						
対象	1. 個人	地域子どもの家:小中学生, 付添人のいる幼児, 青少年団体 児童館:0~18歳の方(幼児は保護者同伴) (2021.3.31現在)				74,401	人
根拠法令等	法律等	藤沢市地域子どもの家条例, 藤沢市児童館条例, 児童福祉法					
事業実施内容	地域子どもの家及び児童館の設備環境の整備等を行った。また、藤沢市土地開発公社が先行取得した児童館建設事業用地の買戻しを行った。 ・藤が岡二丁目地区再整備事業における大道子どもの家開設準備 ・鶴洋児童館の空調機更新工事 ・(仮称)富士見台児童館建設事業用地の買戻し						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 117,136 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	1,349 千円	大道子どもの家遊具等
		工事請負費	13,750 千円	鶴洋児童館空調工事
		公有財産購入費	101,760 千円	(仮称)富士見台児童館用地買戻し
		備品購入費	121 千円	大道子どもの家備品
		その他	156 千円	
財源内訳	R2年度 支出済額 117,136 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他(地方債)	11,000 千円	
		一般財源	106,136 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.10人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.10人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
コスト 支出	行政費用 A				129,241
	(1)現金を伴う支出 (千円)				127,100
	事業費(支出済額)				117,136
	償還金利子				0
	人件費合計(①+②+③)				9,964
	①常時勤務職員等の給与等				9,369
	②会計年度任用職員の報酬等				0
	③退職金相当額				595
	(2)現金を伴わない支出 (千円)				2,141
	①減価償却費				0
	②退職給与引当金繰入額				2,141
③不納欠損額				0	
④その他()				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)					297.02 435,121

成果実績	指標名	目標					-	単位
		実績					-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設の整備及び付帯設備の改修等のため、目標や実績を設定することが困難なため					
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			-	-	-	-	-	-

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	屋根などの施設・設備の老朽化が課題となっている。
(2) 課題解決のための今後の取組	各施設の現状を確認しながら改修など対処方法の検討を行う

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	藤が岡二丁目地区再生整備事業における大道子どもの家開設準備及び鶴洋児童館の空調機更新工事並びに(仮称)富士見台児童館建設事業用地の買戻しを行い、地域における子どもたちの居場所の充実と快適性及び市民サービスの向上を図った。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	引き続き課題が残る施設の改修・環境整備を行っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
14	維持修繕・整備工事等に関すること	無	無	1	1
16	維持管理・設備工事等に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/9/1
----	---------	----	--------	-----	----------

事務事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	青少年の主体性や創造性を育み、心豊かに育つための環境づくり等を推進している(公財)藤沢市みらい創造財団へ青少年施設の管理運営と青少年の健全育成事業等を委託する。 ※指定管理期間:平成30年度～令和4年度まで						
対象	1. 個人	市民					435,121 人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市青少年会館条例, 同施行規則, 藤沢市少年の森条例, 同施行規則, 藤沢市地域子どもの家条例, 同施行規則, 藤沢市立児童館条例, 同施行規則					
事業実施内容	(公財)藤沢市みらい創造財団を指定管理者として青少年等の活動拠点である青少年施設の管理運営及び青少年育成事業等を行うとともに、「成人式事業」「親子ふれあいコンサート事業」などを委託した。 ※成人式事業 オンライン開催 ※親子ふれあいコンサート事業 参加者 340人						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先:公益財団法人藤沢市みらい創造財団) (委託等内容:管理運営業務(青少年会館, 児童館, 少年の森, 地域子どもの家, SL広場)) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金及び負担金:(公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金, 少年の森宿泊研修施設負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 314,903 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		委託料	299,627 千円	青少年会館, 児童館, 少年の森, 地域子どもの家, SL広場, 青少年事業, 成人式屋外誘導警備業務
		使用料及び賃借料	73 千円	AED賃借料
		負担金補助及び交付金	15,163 千円	少年の森宿泊研修施設運営負担金, (公財)藤沢市みらい創造財団運営補助金
		役務費	40 千円	SL広場保険
財源内訳	R2年度 支出済額 314,903 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	508 千円	
		国庫支出金		
		県支出金	400 千円	
その他()				
一般財源	313,995 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.00人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.00人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み,会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	263,320	345,339	341,722	336,220			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	260,578	341,301	338,191	330,664			
	事業費(支出済額)	253,908	334,652	327,230	314,903			
	償還金利息	0	0	6,101	6,703			
	人件費合計(①+②+③)	6,670	6,649	4,860	9,058			
	①常時勤務職員等の給与等	6,361	6,325	4,571	8,517			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	309	324	289	541			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,742	4,038	3,531	5,556			
	①減価償却費	4,129	4,113	4,099	4,049			
	②退職給与引当金繰入額	-1,387	-75	-568	1,507			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	615.95	427,501	804.39	429,317	789.09	433,060	772.70	435,121

成果実績	指標名	青少年施設利用者数	目標	460,000	単位	470,000	単位	450,000	単位	450,000	単位
			実績	459,922	単位	434,426	単位	397,004	単位	195,636	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			572.53	794.93	860.75	1,718.60					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	2021年成人式がオンライン開催となり、別途対象者へ「集まる機会」を提供する。 各事業について、新型コロナウイルス感染症の対策を実施しながらの開催を目指す。
(2) 課題解決のための今後の取組	2021年成人式実行委員会と協力して「集まる機会」の実施を計画する。 新型コロナウイルス感染症の最新情報を元に、効果的な感染防止対策を含めた実施方法を検討する。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	(公財)藤沢市みらい創造財団へ青少年施設の管理運営と青少年の健全育成事業等を委託し、青少年の健全育成と施設管理を効率的に実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	地域における青少年の活動場所として、引き続き青少年施設を効率的に管理運営していく。 令和3年度で指定管理4年目となるが指定管理事業計画に基づく事業実施がなされているかの確認を引き続き行っていくとともに、その効果の検証を実施していく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
7	成人式事業に関すること	無	無	3	3
19	維持修繕・整備工事等に関すること(青少年会館)	無	無	1	1
20	用地管理に関すること(青少年会館)	無	無	1	1
21	SL広場に関すること(委託)	無	無	1	1
26	公益財団法人藤沢市みらい創造財団の運営指導に関する総括に関すること	無	無	1	2
27	公益財団法人藤沢市みらい創造財団青少年事業部の運営指導及び連絡調整に関すること	無	無	1	1
28	指定管理者への委任事務に関すること	無	無	1	1
29	収支状況報告(予算・決算)に関すること	無	無	1	1

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	放課後児童健全育成事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	007	説明	01	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 7 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)を実施するもの。						
対象	1. 個人	保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童(クラブ申込者数)	約	3,900	人		
根拠法令等	法律等	児童福祉法及び子ども・子育て支援法					
事業実施内容	・市と協定を締結した運営事業者((公財)藤沢市みらい創造財団, 社会福祉法人, 学校法人, 特定非営利活動法人, 株式会社)により、放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)を実施した。(計69クラブ) ・放課後児童クラブの安定的な運営と、より質の高い人材確保に向けて、放課後児童支援員(指導員)の処遇改善事業を実施した。						
事業実施手法(該当するものに全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 公益財団法人藤沢市みらい創造財団, 社会福祉法人等) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,013,230 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		役務費	411 千円	放課後児童クラブ用地草刈り等費用
		負担金補助及び交付金	1,012,819 千円	放課後児童健全育成事業負担金
財源内訳	R2年度 支出済額 1,013,230 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金	345,682 千円	
		県支出金	264,816 千円	
その他 ()				
一般財源	402,732 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	1.30人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.30人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	660,215	663,264	756,640	1,027,296			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	665,610	663,322	756,636	1,025,005			
	事業費(支出済額)	660,390	658,119	751,388	1,013,230			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	5,220	5,203	5,248	11,775			
	①常時勤務職員等の給与等	4,978	4,950	4,936	11,072			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	242	253	312	703			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-5,395	-58	4	2,291			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-5,395	-58	4	2,291			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	1544.36	427,501	1544.93	429,317	1747.19	433,060	2360.94	435,121

成果実績	指標名	児童クラブ年間延べ利用者数	目標	493,000	単位	578,000	単位	586,000	単位	594,000	単位
			実績	578,397	単位	586,117	単位	602,443	単位	503,804	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,141.46	1,131.62	1,255.95	2,039.08					

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	公募により同一小学校区内に複数の運営事業者による運営が行われることとなるため、入所及び小学校施設利用に係る事務について既存事業者、新規運営事業者と連携を図り、利用者に混乱が生じないよう適切な説明を行う。
(2) 課題解決のための今後の取組	既存事業者による運営方法を新規事業者へ伝える機会を設け、児童がスムーズに入所し、児童クラブで生活できるように適切なサポートを行う。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	放課後児童支援員の人材確保とクラブの安定運営のため、支援員の処遇改善を実施することができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業拡大
	第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づく施設整備の進捗に伴い、新規事業者の参入が続くことが予想される。事業者間の情報交換会を実施する等クラブの安定的な運営と人材確保のための支援を継続的に進めていく必要がある。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
8	放課後児童クラブの運営に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------

事務事業名	放課後子ども教室推進事業費										担当課	部課名	子ども青少年部青少年課			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	細目	007	説明	02	課等の長	高橋 次郎	電話	3851

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、小学校の余裕教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する。 ◎日時:原則給食のある平日の放課後。◎場所:実施小学校の余裕教室・体育館・校庭。◎対象:実施小学校区在住の児童。						
対象	1. 個人	事業実施小学校区の児童数(2020.5.1現在)			1,598	人	
根拠法令等	その他(要綱等)放課後子ども総合プラン・各小学校区放課後子ども教室推進事業に関する実施要綱						
事業実施内容	・小糸、亀井野及び富士見台小学校区において放課後子ども教室を実施した。 令和2年度利用児童数 小糸小学校区 1,121人、亀井野小学校区 108人、富士見台小学校区 155人						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 各小学校区放課後子ども教室推進事業運営委員会) (委託等内容 : 放課後子ども教室の運営) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R2年度 支出済額 1,431 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	718 千円	見守る人謝礼
		需用費	180 千円	消耗品, 施設修繕
		役務費	318 千円	通信費, 保険料
		委託料	215 千円	運営委員会委託料
財源内訳	R2年度 支出済額 1,431 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	558 千円	
その他 ()				
一般財源	873 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和2年度
常時勤務職員※	0.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.80人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
コスト 支出	行政費用 A	6,744	11,545	9,173	8,977			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	7,575	10,664	9,468	8,678			
	事業費(支出済額)	2,839	2,955	2,665	1,431			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,736	7,709	6,803	7,247			
	①常時勤務職員等の給与等	4,517	7,334	6,399	6,814			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
	③退職金相当額	219	375	404	433			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-831	881	-295	299			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-831	881	-295	299			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.78	427,501	26.89	429,317	21.18	433,060	20.63	435,121

成果実績	指標名	年間の延べ利用児童数	目標	9,000	単位	9,000	単位	9,000	単位	9,000	単位
			実績	8,577	単位	10,398	単位	9,529	単位	1,384	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		786.29		1,110.31		962.64		6,486.27			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> 協働活動サポーター(地域のボランティア)の高齢化及び人員不足 協働活動サポーターの資質向上 新型コロナウイルス感染症流行下での事業実施
(2) 課題解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に合わせ、地区回覧等の機会での募集を行う。 協働活動サポーター向けに感染症対策や応急処置等の研修機会を設ける。 感染症の状況に応じて開室の判断をし、手洗いや遊具の消毒等の感染拡大防止策を講じる。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	事業の実施により、各小学校区において子どもの居場所が確保されたが、新型コロナウイルス感染症の流行やそれに伴う緊急事態宣言の発令等により、事業の実施ができない期間が非常に長くなり、実施日数が例年と比べて極端に少なくなってしまった。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業が実施できるよう、地域団体や学校、対象学区の放課後児童クラブ等と連携しながら手法を検討する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
10	放課後子ども教室の委託事務に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	子ども青少年部	氏名	三ツ橋 利和	確認日	2021/8/13
----	---------	----	--------	-----	-----------